

個別公共事業評価調書（事後評価）

担当部課名 都市整備部 公園課

事業名	社会課題対応型都市公園機能向上促進事業（略称「モデル公園形成支援事業」）										
地区名		市町村名	浜松市								
事業概要	【事業目的及び主な事業内容】 （１）事業目的 中央区中郡町に位置する万斛庄屋公園を、「子ども・子育て世代」や「元気な高齢者の活躍」の拠点として活用することにより、本地域が課題としている多世代交流や地域コミュニティの醸成を目指すもの。 （２）主な事業内容（万斛庄屋公園） ・本市は、寄附された旧鈴木家屋敷の土地・建屋の活用についてワークショップ等で検討し、地域の歴史を市民に広く伝えつつ、地域住民の活動や交流の場となる公園に位置付けた。 ・建屋については、P-PFI により民間事業者が飲食店として再生・運営（資料①）している。 ①ハード：公園の整備工事 <課題> ・公園の出入口と駐車場から、P-PFI 施設への動線確保 ・誰もが安心して利用できる環境の整備（硬いダスト舗装の撤去等） <整備内容>資料①② ・全ての公園出入口と駐車場から、P-PFI 施設へアクセスできる園路を整備 ・小さな子どもが転んでもケガをしにくい芝生広場の整備、未就学児から小学校低学年を利用対象としたちびっこ広場の整備 ②ソフト：プレイパーク事業の実施 <課題> ・高齢者が活躍できる場、子どもの居場所の創出 <実施内容>資料③ ・高齢者がプレイリーダーとなり、遊びを通じて伝統文化や地域の歴史を学ぶ場や機会を提供するプレイパーク事業の実施 ③プロセス：公園の利活用や運営に関与する地域が主体となった体制の構築 <課題> ・地域主体による公園の適切な維持管理や運営を実現するためには、課題や情報を共有するプラットフォームの構築が必要である。 <実施内容> ・行政、P-PFI 事業者、地元活動団体等で構成される「万斛庄屋公園活性化協議会」を設置し、定期的な意見交換会を実施										
	事業実施期間	令和 4 年度～ 令和 6 年度	事業(補助)採択	令和 4 年度 令和 5 年度	工事着手	令和 4 年度	事業完了	令和 6 年度			
	事業費	当初総事業費			60（百万円）		投資実績			60（百万円）	
		うち、国庫等支出金・各種負担金(歳入)	交付金等の名称			金額(百万円)					
						国費	県費		市費		
			モデル公園形成支援事業			30	0		30		

事業効果等の発現状況	① 量的効果 (費用便益分析等)	<公園利用者の増加> ①子ども・子育て世代を対象としたイベントの年間参加人数 ・従前値(基準年度 R3) 2回・430人/年 →実績値(R6時点) 8回・1,010人/年(目標値(R6時点) 6回・1,000人/年) ②高齢者を対象とした健康づくりや生きがいづくり事業の年間参加人数 ・従前値(基準年度 R3) 2,200人/年 →実績値(R6時点) 4,513人/年(目標値(R6時点) 4,400人/年)
	②定性的効果	・子どもから高齢者までが安全に楽しく活動できる公園の実現 ・地域高齢者の活躍の場と子供の居場所の確保、世代を超えた交流機会創出の実現 ・新たな子育て世代を中心とした活動団体の拡大 ・P-PFI 事業者、地元住民、行政との連携による維持管理や利活用の推進
	③その他特記事項	特になし
B 改善措置等の検討	①今後の事後評価の必要性	今後の事後評価の必要性(無) 〔当初設定した目標を達成しているため〕
	②改善措置の必要性	改善措置の必要性(無) 〔当初設定した目標を達成しているため〕
C フ同種事業へのフィードバック	①同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性	本評価終了後も継続して運営状況を把握・評価することにより、同種事業実施時には、計画、調査、事業評価手法について、フィードバックを行う。
懸案事項		・本事業におけるソフト、プロセスを継続・拡充することにより、高齢者と子ども・子育て世代の融合を促進し、更なる地域活性化と次世代への継承を図る。 ・現在、イベントや芝生広場の維持管理を主体的に行っている NPO 団体や愛護会の高齢化が進んでいるため、今後、担い手の育成等、持続可能な公園管理に向けて官民連携手法を模索し反映していく。
対応方針	部審査会判定日：令和7年5月20日 【理由等記述欄】 事業効果、指標の達成状況、今後の方針等を確認し審議を行った結果、本事業は適正に執行されたと認める。	